

Assessment Report

国立大学法人 福井大学



Report Author

谷屋 彰人

Visit Start Date

2011-12-05



Introduction/はじめに

この報告書は以下の審査に関し、谷屋 彰人 により作成されたものです。

審査参照番号/審査種類/日付/審査期間	認証書番号/適用規格	組織名及び審査先住所
7586747 更新審査 2011-12-05 9 日 対象人数: 888	EMS 73561 BS EN ISO 14001:2004	国立大学法人 福井大学 日本 〒910-8507 福井県 福井市 文京 3 丁目 9 番 1 号

本審査の目的は、推薦された登録範囲のすべての要素及びマネジメント規格のすべての要求事項を、組織のマネジメントシステムが効果的に実施されていることを確認するための、認証に関する更新審査でした。本訪問が複数のロケーションにわたる審査の一環である場合、審査の最終的な結論は、すべての審査の結果を受けて決定されます。

Management Summary / 審査概要

認証登録の継続を推薦いたします。

本訪問の過程で審査した領域は、概ね有効と判断されました。

以前の審査の不適合等で、今回レビューされるべき事項はありませんでした。

本審査において、新たな不適合は発見されませんでした。さらなる審査所見の詳細について、本報告書に述べられています。

Areas Assessed & Findings / 審査所見

審査チームは次の審査ポイントを通じて EMS の継続的な改善を確認することができました。

- 審査範囲
- EMS 実施状況（サイトツアーも含む）
- EMS 文書
- 環境方針・環境目標に対する成果の監視、報告書及び見直し
- 該当する法的及びその他要求事項の遵守
- マネジメントレビュー
- 内部監査
- 利害関係者からのコミュニケーション（苦情を含む）対応
- 是正処置・予防処置
- EMS の有効性
- 変更への対応
- 過去 3 年間の外部審査網羅性
- 過去の審査所見への対応

前回審査以降の環境の運用、管理に関して以下を確認しました。

■ 変更のあった分野確認

Scope 内容に変更はなく、環境マネジメントシステムの認証範囲の変更はありませんでした。

■ 環境システム文書の変更確認

今回の審査は、以下の文書を参照して実施しました。

福井大学文京キャンパス環境マネジメントマニュアル： 改定日：2011年9月9日 第15版

文書番号：FU101

変更内容：マネジメントマニュアル改訂履歴

適用除外とその理由：対象除外なし

福井大学松岡キャンパス環境マネジメントマニュアル： 改定日：2011年9月9日 第8版

文書番号：FMS101

変更内容：マネジメントマニュアル改訂履歴

適用除外とその理由：対象除外なし

■ 内部監査実施の確認

内部監査(年1回計画)は実施されていました。

2011年10月に内部監査が実施され結果は下記の通りでした。

文京キャンパス 2011年10月 OBS1件

松岡キャンパス 2011年10月 OBS8件、Good Point23件

■ 是正処置・予防処置

外部審査で不適合は特定されていません。

観察事項に対して取捨選択され改善処置が適切に実施されていました。

予防処置も実施されています。

■ コミュニケーション

内部コミュニケーションは定期的に部門内、および全体で実施されています。

外部（利害関係者）からのコミュニケーションは記録に取られる仕組みができています。

文京及び松岡両キャンパスでクレームは発生していないことが確認できました。また、関係当局との調整事項もありません。

学外へのコミュニケーションをホームページ、環境方針カードなどにより開示されています。

■学長による見直し（マネジメントレビュー）

組織の環境マネジメントシステムが継続的に適切であり、妥当でかつ、有効であることを確実にするために、年1回学長によるマネジメントレビューが実施されています。

マネジメントレビューでは環境マネジメントシステムの改善の必要性及び環境方針も含めて、マネジメントシステムの変更の必要性を検討されています。

学長による見直しは議事録にマネジメントレビュー記録として管理されています。

■環境方針、目的、目標および実施計画に対する環境の有効性

環境方針（福井大学環境方針 2007年4月1日）の適切性および目標の実施状況の確認を下記のタイミングで実施されています。

- ①定期：内部監査又は、外部機関による審査後の学長によるシステムの見直し時
- ②適用範囲の大幅な変更が起こったとき等に学長が必要と認めた時

■法規制の遵守状況の評価、手順

法規制（法的およびその他の要求事項）に関しては、特定された法的要求事項に対する見直しを実施され、担当部署より受けた報告（実施報告書）を用いて個別の特定されている法的要求事項の順守を評価されていました。

■サイト周辺や土壌への活動の影響、環境負荷

サイトツアーを各拠点で行われ、主要な設備について、音や臭い、近隣への迷惑をきたすような状況、土壌への影響を確認しましたが、影響は見られませんでした。

■認証書及び認定シンボルの適正使用

シンボルの使用方法を適切ですが、対象外サイトとの識別方法を明確にする必要があります。

観察事項

谷屋審査員

<文京キャンパス>

1. 文京地区総括環境責任者・事務局(4.5.3)

組織の仕組みとして不具合が発生した際に内部コミュニケーション記録書で原因の追及及び再発防止につなげ、実施後の有効性のレビューが行われていますが、レビュー方法をさらに明確にされることを推奨いたします。

2. 文京地区総括環境責任者・事務局(4.3.2)

環境関連法規制適用基準一覧及び環境関連法規制概要一覧にて適用法規制を明確にされ管理されていることの確認をいたしました。法律・条例調査報告書でISO実施専門部会へ報告されていますが、報告書の運用方法をさらに明確にされることを推奨いたします。

3. 総合戦略部門（経営戦略課、広報室）、総務部総務課・事務局(4.3.1)

各部場所（ユニット）の定期環境側面見直しを年1回所定のアンケートに回答することで実施されていることの確認をいたしました。側面の変化が各部場所（ユニット等）で発生していることも見受けられ、アンケートに変化の反映をすることが明確でないためアンケートの見直しまたは、側面の変化が記入し易いよう検討することを推奨いたします。

4. 研究推進課・事務局(4.3.1)

新規設備の導入依頼を受け設備導入が行われていることの確認をいたしました。導入時の設備の確認が行われていますが、側面見直し時のタイミングをさらに明確にされ改善につなげることを推奨いたします。

<松岡キャンパス>

5. 松岡地区総括環境責任者・事務局(4.6)

内部監査が計画また、定期的実施され改善につなげられていることの確認をいたしました。今後マニュアルに記載されている内部監査実施の目的が担保出来ているかの確認方法をさらに明確にされることを推奨いたします。

6. 医学科環境責任者・事務局(4.3.1)

大型機器及び設備等の導入前にアセスメントが実施されていますが、アセスメント対象が施設設備及び大型機器の金額に応じて行われているため再度検討対象を明確にされることを推奨いたします。

7. 人事労務課(4.5.4、4.4.2)

実施された教育訓練の記録を教育実施報告書に記録し事務局へ提出されていますが、教育実施報告書の運用方法をさらに明確にされることを推奨いたします。

森本審査員

<文京キャンパス>

1. 生協環境責任者(4.3.1)

汚水の排水及び食品の排水の管理は現在目的目標項目として特定されていますが、実際の活動は法律順守の監視測定のみであることから、運用管理に移行されることを推奨いたします。

2. 生協環境責任者(4.3.3)

目的目標項目「弁当箱の回収率」の目標値 60%以上は、昨年度実績（85%）及び今年度実績の実績（87%）から目標値を修正され活動される余地が見られます。

3. 教務課、システム(4.3.2)

「環境関連法規制適用一覧表」に適用ユニット欄を追加され、各ユニットの適用法律を明確化され、管理強化されることを推奨いたします。

4. 産学官連携本部(4.3.3)

著しい環境側面特定後、目的目標項目を決定される際、環境改善に繋がる研究開発テーマを選定され、学外（産業界等）への環境改善を推進されることを実施計画とされることを期待いたします。これにより ISO 活動の成果が大きくなることが考えられます。

5. 教育地域科学部環境管理責任者、地域政策講座、社会系教育講座(4.5.3)

紙、ゴミ、電気の削減から、本来業務である人材育成を著しい環境側面として特定され、活動を推進されることが期待されます。人事育成が環境に関連する卒論テーマの選定、事業カリキュラムへの環境項目の選定等が考えられます。

<松岡キャンパス>

6. オリックス(4.5.2)

使用されている溶剤、薬品の MSDS を入手され、職場の近くに保管される余地があります。

7. 医学科：分子病理学領域、腫瘍病理学領域他（4.4.6）

実験室の流し台で、排水として流してはいけない溶剤を取り扱うときには、万一不注意でこぼしても、廃液が流れない管理強化をされることを推奨いたします。

8. 財務部：環境整備課(4.5.2) Good Point !!

産業マニフェストの各票の返却日管理が運搬、処理、最終処分終了後 10 日以内に、定められていますが確実に管理されておりました。素晴らしい管理事例として高く評価いたします。今後も持続し管理されることを期待いたします。

村上審査員

<文京キャンパス>

1. 工学研究科(4.3.1)

例えば、建築建設工学専攻では「紙の使用量の削減」を目標に設定しているが、研究している“廃原発のコンクリートの再利用の研究”等が環境目標として設定可能であることを認識することが望まれます。

2. 文京地区総括環境責任者(4.3.1)

文京地区総括環境責任者はメールを利用して、毎年、「環境影響調査表」の作成を依頼しているが、ユニットの各研究室が「環境研究 No.30」に関連する今年度の具体的な研究項目の内、研究成果が環境影響の改善に大きな効果あるものを記入出来る様に「環境影響調査表」の項目を追加することが望まれます。

3. 附属幼稚園、小学校、中学校(4.3.3)

「エネルギー使用量の削減 前年比 1% の削減」に関して、電力積算計が附属幼稚園、小学校、中学校でひとつのため、附属小学校、中学校は目標値を設定していないが、附属幼稚園、小学校、中学校の 3 部門で目標値を設定することをお勧めします。尚、改修工事の実施により、予め、電力使用量の低下が想定される場合は概略の予測値をもとに目標値を決定することをお勧めします。

4. 附属小学校(4.5.1)

ISO14001 のシステムは P-D-C-A サイクルと称されるものであり、例えば、Check である「年度給食食べ残し調査」等に監視・測定の結果を記録した際、記録値が特異な数値であった場合（その月の食べ残し量が大幅に減少した等）、Action に移行するために異常値の原因を推定し、記録用紙の余白等に記述することをお勧めします。

5. 附属中学校(4.4.6)

第一理科室の劇物保管庫の劇物は、現在、劇物の容器数による数量管理を実施しているが、何らかの方法により、劇物の重量、体積等による数量管理を行うことをお勧めします。

<松岡キャンパス>

6. 松岡キャンパス サイトツアー(4.4.6)

エネルギーセンター屋上には機械室内の吸収式冷温水機に使用したと思われる LiBr（リチウムブロマイド）溶液用の空容器があるが、早急に廃棄の手配をとることが望まれます。

更新審査における確認事項

今までの審査実施状況と更新審査計画：

2008 年に BSI で 14001:2007 の認証を取得され 1 回目の更新審査になります。

BSI での継続審査年 1 回のサイクルで実施されています。

この間審査では全ての規格要求事項および部門が網羅されています。

更新審査計画

更新審査計画は過去の審査計画をもとに作成されました。

審査所見のレビュー：

審査所見のレビュー：

BSI での継続審査年 1 回のサイクルで実施されています。

観察事項は 2009 年は Good Point 3 件、OBS 6 件、2010 年は Good Point 2 件、OBS 8 件特定されています。

観察事項は取捨選択し改善に取り組まれていることの確認ができました。

特に傾向はなく概ね良好であることを確認しました。

組織の目標に対する進捗状況：

組織は概念および基本方針(2007 年 4 月 1 日)に基づき環境目標を設定され整合が取れているものにされています。

方針の見直しは下記のタイミングで実施されていることが規定されています。

①内部監査あるいは外部機関による審査後の学長によるシステムの見直し時

②臨時では適用範囲の大幅な変更が起こった時等に学長が必要と認めた時

組織はマネジメントシステムに基づ教育・訓練、内部監査、マネジメントレビューによる監視、測定及びレビュー、並びに是正・予防処置を含む継続的な改善によりマネジメントシステムの PDCA が着実に実施されていました。

環境方針からなる環境目標の達成にむけて着実に進化していることは経営者へのインタビューでも確認できました。

○内部監査

内部監査は、年1回2009年、2010年、2011年に実施されています。

文京キャンパス

2009年特定された指摘はありません。

2010年特定された指摘はありません

2011年特定された改善が1件

松岡キャンパス

2009年 NC4件、OBS7件、Good Point20件

2010年 NC0件、OBS8件、Good Point23件

2011年 NC0件、OBS10件、Good Point25件

内部監査は計画通り実施されています。

内部監査は全学を対象に年1回実施されていました。

○是正処置・予防処置

外部審査での観察事項に対して改善処置が取捨選択され実施されていました。

また、組織で受けたコミュニケーションを内部コミュニケーション記録として捉え改善につなげられています。

○顧客及び利害関係者からのフィードバック

フィードバックは外部コミュニケーション記録に残されています。苦情の類はありませんでした。

○マネジメントレビュー

学長による見直し（マネジメントレビュー）は年1回実施されています。

2009年度 12月

2010年度 12月

2011年度 12月実施済み

○環境側面

組織の環境側面は環境重点管理項目一覧で管理されています。

財務・施設委員会又は環境保全等推進小委員会が肝要影響評価を見直しするかを検討します。

法律・条例の新設・改廃

業務内容の変更

学長による見直し

利害関係者からの環境に関する要望・苦情

新規事業への着手・あるいは完成

新技術又は新装置の導入・廃棄等

ISO14001規格の変更

また、上記にかかわらずISO実施専門部会が必要と判断された際に見直しが行われる仕組みになっています。

○法規制の遵守状況

引き続き法令・規制が順守される環境であることを確認しました。

組織の目標に対する進捗状況：

環境保全等実施専門部会は、下記の項目に配慮し目的及び目標の立案を行い、総括環境責任者に提出されています。

①法律・条例

②著しい環境側面

③技術上の選択肢

④財政上、運用上及び事業場の要求事項

⑤利害関係者からの見解

⑥汚染の予防

⑦環境方針

上記条件に沿って策定された目標は目的・目標一覧で確認が行われ、実施状況は実施計画及び実施報告書で確認できました。進捗状況は概ね良好であることが確認できました。

今後のマネジメントシステムの方策と目標：

今後の組織の方策および目標として学生がさらに積極的に参加、また、主体的に動けるシステムにしていくこととされています。

BSIによる顧客対応

この度の審査は谷屋審査員、森本審査員、村上審査員で実施されました。

Assessment Participants / 審査参加者

貴組織側代表者

氏名	役職
福田 優 様	学長、最高環境責任者
福井 一俊 様	工学部研究教授、総括環境責任者
日下 幸則 様	医学部教授、松岡地区総括環境責任者

下記の審査員が BSI を代表して審査を実施致しました。

氏名	役職
谷屋 彰人	チームリーダー / Team leader
森本 好威	チームメンバー / Team member
村上 卓	チームメンバー / Team member

Continuing Assessment / 継続審査

継続審査プログラムは以下のとおりです。

組織名及び審査先住所	認証書番号／訪問サイクル	
国立大学法人 福井大学 日本 〒910-8507 福井県 福井市 文京三丁目九番一号	EMS 73561	
	訪問間隔：	12 months
	審査工数：	28 hours
	次回更新時期：	2014-12-01

更新審査による認証更新は、認証サイクル完了時、又は必要に応じてそれ以前に実施されます。システム全体についての再審査が必要です。

Re-certification plan / 3年間の審査計画

		Visit 1	Visit 2	Visit 3	Visit 4	Visit 5	Visit 6
対象領域/ロケーション	時期(月/年):	12/11	12/12	12/13	12/14		
	期間(日数):	9.0	4.0	4.0			
文京キャンパス		✓	✓	✓	✓		
学長		✓	✓	✓	✓		
文京総括環境責任者		✓	✓	✓	✓		
教育地域科学部		✓	✓	✓	✓		
工学部		✓	✓	✓	✓		
総合戦略部門		✓			✓		
総務部		✓	✓		✓		
財務部		✓		✓	✓		
学務部		✓			✓		
監査室		✓			✓		
総合情報基盤センター		✓		✓	✓		
産学官連携本部		✓	✓		✓		
遠赤外線領域開発研究センター		✓		✓	✓		
技術部		✓	✓		✓		
生活協同組合		✓			✓		
国際原子力工学研究所			✓		✓		
松岡キャンパス		✓	✓	✓	✓		
医学部長		✓	✓	✓	✓		
松岡地区総括環境責任者		✓	✓	✓	✓		
医学部		✓	✓	✓	✓		
総務部		✓					
財務部			✓				
学務部				✓			
病院部				✓			
松岡地区情報処理センター			✓				
ライフサイエンス支援センター		✓		✓			

高エネルギー医学研究センター	✓	✓				
附属こどもの発達研究センター	✓	✓				
看護部	✓		✓			
生活協同組合	✓			✓		
勝木書店	✓			✓		
オリックス	✓	✓	✓	✓		
組織/マネジメントレビュー	✓	✓	✓	✓		
マネジメントシステム&変更	✓	✓	✓	✓		
内部監査	✓	✓	✓	✓		
是正処置及び苦情	✓	✓	✓	✓		
更新審査	✓			✓		

Next visit plan / 次回審査計画

審査目的：

継続審査：マネジメントシステムの適用範囲に含まれる代表領域及び機能が定期的に監視するものであり、組織のマネジメントシステムの変更についての確認を行うものです。

審査対象スコープ：

福井大学文京キャンパス、附属小学校・中学校・幼稚園、及び附属特別支援学校及び松岡キャンパス（附属病院を除く）における教育及び研究活動

日付:	審査員	時間	領域/プロセス	項目
			詳細は次回計画書を参照願います。	

次回の審査についての詳細な日程は、後日担当者によりご連絡いたします。なお管理責任者が審査に出席できなくなった場合には、代理人を任命し、職務を代行して頂くようお願い致します。

Notes / 注記

審査はサンプリングに基づいて行われているため、特定されなかった不適合が存在する可能性があります。

本報告書の写しを貴組織外に公開する場合は、必ず全ページを使用してください。

BSI 及びそのスタッフ並びに代理人は、貴組織に関するすべての情報を機密扱いとし、かかる情報を第三者には開示致しません。ただし、公開情報、若しくは法令又は当該認定機関が開示を義務づける情報はその限りではありません。BSI のスタッフ、代理人及び認定機関は各々の機密保持誓約に署名しており、「知る必要がある場合」に限り機密情報を入手致します。

この報告書及び関連文書（以下、「本報告書」といいます。）は、BSI の顧客のためだけに作成されたものであり、その他の目的に使用されることを予定しておりません。そのため、BSI は、他の目的に本報告書が用いられたとしても、それに関連していかなる責任（法的なものに限りません）も債務も負わず、また BSI の顧客以外の者に本報告書が開示され、もしくはそれらの者が本報告書を手に入れたとしても、BSI はそれらの者に対していかなる責任（法的なものに限りません）も債務を負わないものとします。また、いかなる第三者も本報告書に依拠する権利を有しないものとします。

認証登録に関する BSI へのご相談は、カスタマーサービス部にご連絡ください。

BSI グループジャパン株式会社

認証事業本部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-12-28 青山ビル 5 階

Tel: 03-6890-1173 Fax: 03-6890-1182

下記の URL から最新版の「認定シンボル/BSI 登録シンボルの使用及び認証の公表」のダウンロードが可能です。

<http://www.bsigroup.jp/certmarkguide>

Regulatory Compliance/ 法規制の順守

今回の審査に関わる BSI の契約条件では、監督機関への報告を要するような、当該マネジメントシステムに関する法令違反又は事故・事件等は、すべて BSI にご連絡いただくことが定められています。この報告書をお客様に受領いただくことは、このような全ての事項が今回の審査プロセスにおいて開示されており、また、今後発生する法令違反又は事故・事件等についても、可及的速やかに BSI に通知されることに合意したことを意味します。

附属書

認証登録の詳細:

(再発行理由: EMS 更新審査 (認証スキーム: ANAB/JAB))

会社名/Company Name:

国立大学法人 福井大学 / UNIVERSITY OF FUKUI

Registered Address 登録住所:	国立大学法人 福井大学 日本 〒910-8507 福井県 福井市 文京 3 丁目 9 番 1 号 UNIVERSITY OF FUKUI 3-9-1 Bunkyo, Fukui 910-8507 Japan
------------------------------------	---

Trading name (also to appear on certificate): N/A

Registered Address 登録住所:	国立大学法人 福井大学文京キャンパス 日本 〒910-8507 福井県 福井市 文京 3 丁目 9 番 1 号 UNIVERSITY OF FUKUI Bunkyo campus 3-9-1 Bunkyo, Fukui 910-8507 Japan
------------------------------------	--

サイトのスコープ:

福井大学文京キャンパスにおける教育及び研究活動

Education and study at University of Fukui Bunkyo campus

Registered Address 登録住所:	福井大学教育地域科学部附属 小学校・中学校・幼稚園 日本 〒910-0015 福井県 福井市 二の宮 4 丁目 45 番 1 号 Elementary School, Junior High School, and Kindergarten Attached to Faculty of Education and Regional Studies, University of Fukui 4-45-1 Ninomiya, Fukui 910-0015
------------------------------------	---

サイトのスコープ:

福井大学附属小学校・中学校・幼稚園における教育及び研究活動

Education and study at University of Fukui attached Elementary School, Junior High School and Kindergarten

Registered Address 登録住所:	福井大学教育地域科学部附属特別支援学校 日本 〒910-0065 福井県 福井市 八ツ島町第 1 号 3 番地 School for special Needs Education Attached to Faculty of Education and Regional Studies, University of Fukui 1-3 Yatsushima-cho, Fukui 910-0065 Japan
------------------------------------	--

サイトのスコープ:

福井大学附属特別支援学校における教育及び研究活動

Education and study at University of Fukui attached School for special Needs Education

Location Address その他のサイト:	国立大学法人 福井大学 松岡キャンパス (附属病院を除く) 日本 〒910-1193 福井県 吉田郡 永平寺町松岡下合月 23 号 3 番地 UNIVERSITY OF FUKUI Matsuoka Campus (excluding hospital function) 23-3 Matsuokashimoaizuki, Eiheiji-cho, Yoshida-gun, Fukui 910-1193 Japan
--	--

サイトのスコープ:

福井大学松岡キャンパス (附属病院を除く) における教育及び研究活動

Education and study at University of Fukui Matsuoka campus (excluding hospital function)

推薦する認証登録範囲/Recommended scope of registration :

マネジメントシステム審査登録

福井大学文京キャンパス、附属小学校・中学校・幼稚園、及び附属特別支援学校及び松岡キャンパス (附属病院を除く) における教育及び研究活動

Education and study at University of Fukui Bunkyo campus(excluding hospital function), and attached Elementary School, Junior High School, Kindergarten, and School for special Needs Education and Matsuoka campus